

環境保護の取組

東海ろうきんエコアクション

当金庫は、北は日本アルプスを始めとする荘厳な山々、南は雄大な太平洋と、豊かな自然環境に恵まれた東海三県に基盤を置く地域金融機関です。

この地域の環境保全事業活動における環境負荷の低減や環境活動への自主的な参加等を目的とし、2017年度に策定した第2期中期エコアクション計画達成のため、エコアクションのPDCAサイクルを準拠し、「肌で触れるエコアクション」を全部店で継続的に取り組んでいます。

環境方針

1. 環境に関する法規制・条例等を遵守します。
2. 事業から発生する環境への影響を役職員一人ひとりが考え、持続可能な社会の形成に向けて努力・工夫を重ねます。
3. 地域での環境活動の中で主体的に役割を發揮していきます。
4. 環境に配慮したサービスを提供し、お客さまの環境保全への取組を支援します。
5. 本方針から派生する環境活動を通じて役職員に教育・フィードバックを行い、環境活動の取組向上に繋げていきます。
6. 環境活動はホームページなどで対外に公表します。

環境管理委員会の設置

環境経営者（専務理事）および環境管理責任者（総務人事部長）を中心に、環境管理委員（役員、選任部店長）をメンバーとした環境管理委員会を設置し、環境保護に繋がる様々な施策や目標の進捗管理について議論を交わしています。

中期エコアクション計画

「環境方針」に基づき、2017年度から3か年の第2期中期エコアクション計画に取り組んでいます。

1. 電気使用量、紙ごみ排出量の3%削減
2. 「森の学校」をフィールドとしたエコ教育や、職域・地域・家庭における環境活動への参加等を通じた役職員のエコマインドの醸成
3. 事務効率の向上を目指し整理整頓によるオフィス改革
文具費の30%削減

その他の特徴的な取組

上記以外にも当金庫では、以下の項目について取り組んでおり、環境負荷低減を図っています。

- 「エコアクション宣言」を東海ろうきんで働くすべての役職員が行い、自律的に環境負荷低減に取り組めます。
- 「ろうきん森の学校」では、NPOとの協働により、木工・竹細工講座や色鉛筆作り等の自然体験を通じ、環境教育の普及を図っています。
- 冷暖房の適正温度設定やクールビズの実践、リサイクル・リユースの徹底、グリーン商品の購入、エコカーの利用等、省エネ・省資源に努め、環境負荷低減とコスト抑制を図っています。
- 可児文書管理センターでは東海ろうきん全部店から紙ごみを回収・加工し、それを専門業者がトイレトペーパーにしたものを金庫全体で使用して、資源の有効活用を実践しています。
- 新店舗の建設時には、ソーラーパネルの設置や屋上緑化などを行っており、今後の店舗建設においても積極的に取り入れていく予定です。また、既存店舗においては、照明のLED化工事を順次行っており、環境にやさしい店舗作りを行っています。



「ろうきん森の学校」



太陽光発電パネル（中津川支店）